
最強生徒会！！

雲雀有希

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

最強生徒会！！

【Nコード】

N1276I

【作者名】

雲雀有希

【あらすじ】

ここは、雲羽町の雲羽中学校。

こここの、生徒会の生徒会長と副会長には、秘密が・・・
俺、神戸蓮夜も、巻き込まれて・・・

最強生徒会の秘密？

さあ はじまるよ……

少年の秘密が……

少女の秘密が……

封印が解かれる……

桜舞う 春

俺、神戸蓮夜 兄貴と母さんと父さんの4人家族だ。

親に、「雲羽町の雲羽中学校に入れ」と、言われ入った……

入学式の始まる前に三年生の先輩から、「一年全員に話がある」と、言われた。

「さあ、新一年生の諸君。今から、俺らが言うことをよく聞きな……

聞きかないと…… 大変なことになるよ……」と、三年の楓麻夜緒先輩に言われた……

その、内容は、「一年の人たちは、ほとんどの人が知らないかな？ え〜とつ俺たち三年の中にいるな、南雲有希羽と雲羽議員の息子、雲羽蒼にはかかわるな！ いいな！！」と、言った。

「どうしてですか？」と、質問した生徒がいた。

夜緒先輩は、「雲羽蒼は雲羽議員の息子で、空手の達人で、イケメ

ンで、ハーフなんで、
女子に人気だ。

南雲有希羽は元剣道の全国一位だ！今は剣道をやめているが・・・その時よりさらに、強く、喧嘩も強い、有希羽だけ、学ランを好んで着ている・・・二人とも、学年のトップを争う成績で、しかも、生徒会に入っている」と、言った。

「すごいのは、わかつたんですが・・・なぜ、二人に関わつたらダメなんですか？」と、質問が、「一年は雲羽中の生徒会を知らないからか・・・」と、夜緒先輩・・・

「生徒会？」　「ああ、簡単に言つと・・・この生徒会は、校長より権力が高い！」

みんな、開いた口が塞がらない感じだ・・・俺もだった・・・俺は思い切つて、「先輩！・・・そんな事があるんですか？」と、言つた・・・

「ああ、この生徒会は、成績と強さの二つを持った、人じゃないと入れないように、昔からなっている・・・それで、雲羽蒼が生徒会長、南雲有希羽が副会長だ！」と、夜緒先輩。

「あと、前に喧嘩が強いと言われていた不良が二人に文句をつけに言つたが・・・次の日、

包帯でグルグル巻きになつて、入院していた・・・だから、生徒会には、関わらないほうが、いい！」　「わかつたな！」と、夜緒先輩が言つて教室を出て行つた・・・俺たちは、みんな固まつたままだった・・・

入学式が始まり・・・

校長の長々い話が、終わると・・・

「次に・・・生徒会からのあいさつ」と、言われた・・・

俺たち1年生は、恐怖でガチガチだった・・・

出て来たのは、ハーフの雲羽蒼だけでわなく・・・南雲有希羽もだった・・・

蒼は笑顔だったけど・・・有希羽は、すごくいやそうな、顔をしていた・・・

「ようこそ、雲羽中学校へ・・・」と、蒼が話し終わると・・・有希羽が「校長、話長いよ。」と、言う校長は、ビビッテ真っ青になつていた・・・「まあまあ、南雲君」と蒼が・・・

「ふん、雲羽蒼が言うなら・・・まあいい・・・ようこそ、雲羽中学校へ、1年生の皆さん、規律を守って学校生活を楽しんでください。守らないと・・・大変だよ」とニヤリとしていった・・・

最強生徒会の秘密？（後書き）

途中なんですけど・・・

続き書けるかな〜 不安・・・

温かく見守ってください・・・

兄貴登場

こんにちわ、俺、蓮夜は無事に、入学式が終わりました・・・
安心して、家に帰ると・・・

靴が一つ多かったので、慌てて中へ行ったら
なんと、二年も帰ってこなかった兄貴が帰って来たのだ・・・
兄貴の名前は神戸麻緒、仕事だと、世界を飛び回っている。

俺が入って来たのがわかったのか、「よう、蓮夜」と、
言ってきた。

俺は、「どこ、行ってたんだ」と、怒鳴った。

「まあまあ、蓮夜。俺が、帰ってきたんだから、もう少し
喜べよ」と、言われた。

「あつ、そういえば・・・蓮夜、お前、雲羽中学校に
入学したんだってな・・・そこに、南雲有希羽はいるか？」
と、言われた。

俺は、びっくりした。

あの、恐れられた南雲有希羽がいるか？と、聞いてきたからだ。

兄貴登場（後書き）

神戸蓮夜の兄貴、神戸麻緒が登場でした。

遅刻決定！！

「兄貴、何で南雲有希羽さんの事知ってるんだよ！！」
「ああ、気にするな。じゃあ俺部屋に行くから・・・」と言って、リビングを出て行った。

～次の日～

グウ～～ グウ～～

「蓮君、学校おくれるわよ！！」

「ふえっ！母さん今何時？」「8時になる少し前よ」

「え～～～～！！！！俺、遅刻決定だ！！」

「蓮夜、乗っていけ！」 「ナイス！兄貴！！ああ、神様お兄様」

「蓮君、ご飯は？」 「母さん、無理！ごめん！！」

キンコーン カンコーン・・・

「副委員長、後の人は遅刻でいいですか？」 「そうだね。今日は、何人？」

「はい。 3人です。」 「楽しませてくれるかな？」 「・・・」

はあっはあっ 「やった！間に合った！！」 パツシツ

「ふえっ？」 「残念。遅刻だよ。」 「ななな南雲さん？」

「僕は、ななな南雲じゃないよ。」

遅刻決定！！（後書き）

ハハハ。

ななな南雲さんですよ。

ではでは。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n1276i/>

最強生徒会！！

2010年10月10日17時36分発行